

熱田の未来

The future of Atsuta

シンポジウム2023

Symposium2023

～ひとが集うまち・熱田へ～

かつて東海道随一の宿場町として繁栄し、
現在でも熱田神宮をはじめとする多くの史跡が残る熱田。
今年1月には地下鉄の駅名が「熱田神宮伝馬町駅」「熱田神宮西駅」に変更され、
熱田には大きな注目が集まっています。
そこで今回、名古屋城から熱田神宮までの南北軸に着目した
まちの魅力向上に向けた取り組みとして、
熱田のまちづくりと観光振興について考えるシンポジウムを開催します。

日時

9.25 MON 15:00~19:00
(14:30~受付)

会場

名古屋国際会議場 白鳥ホール **参加費 無料**
(名古屋市熱田区熱田西町1番1号)

※当日の天候等、諸般の事情によって開催を中止する場合がございます。

主催



名古屋商工会議所



君を
待つ
まち
熱田



atsuta
brand
japan

Program

開会挨拶 名古屋商工会議所 会頭 嶋尾 正

来賓挨拶 名古屋市長 河村 たかし 氏

講演 「名古屋のまちづくりと熱田への期待」

名古屋商工会議所 副会頭 高崎 裕樹

講演 「^{あつた}「こないいい町」熱田がね!なごやか名古屋に来てちょーよ!」

講演 旭堂 鱗林 氏

パネルディスカッション

コーディネーター 名古屋学院大学 現代社会学部 教授 水野 晶夫 氏

あつた宮宿会 会長 花井 芳太郎 氏

パネリスト (順不同) 水辺とまちの入口研究所 共同代表 井村 美里 氏

名古屋市住宅都市局 まちづくり調整監 山下 直人 氏

交流会 関係団体によるPRブース出展

Access

最寄り駅

名古屋市営地下鉄名城線

▶「西高蔵」から徒歩5分

名古屋市営地下鉄名港線

▶「日比野」から徒歩5分

※駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関を使ってください。



問い合わせ先

名古屋商工会議所 商務交流部
流通・観光・街づくりユニット

担当: 牧井、鈴木

TEL:052-223-5735

E-mail:ryutu@nagoya-cci.or.jp

お申込みはこちら

会場定員

申込締切

200名 9月19日(火)



後援(予定) 名古屋市、中日新聞社

協力(予定) 公益財団法人名古屋まちづくり公社、公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

講演



名古屋商工会議所 副会頭 **高崎 裕樹氏**
たかさき ひろき

岐阜県出身。1983年名古屋鉄道株式会社入社。
2012年取締役。
常務取締役、専務取締役、代表取締役 副社長執行役員を経て、
2021年6月に代表取締役社長 社長執行役員へ就任。
不動産事業の経験が長く、現在は交通・観光・まちづくり一体とした地域の魅力向上に取り組んでいる。
名古屋商工会議所副会頭、地域開発委員長。

講演



講師 **旭堂 鱗林氏**
きよくどう りんりん

愛知県生まれ。1999年より東海地方を中心にタレント活動をはじめ。
2006年より上方講演師 旭堂南鱗の講演道場に通り、3年の修行を経て南鱗一門として講演師の活動を始める。2017年からは旭堂一門となり、旭堂鱗林を名乗る。
2018年の年季明け後(前座修行終了)、名古屋を本拠地に活動を行う。現在は、名古屋観光文化交流特命大使、熱田区おしゃべり大使(広報大使)、白鳥庭園広報大使等も務める。

パネルディスカッション



コーディネーター
名古屋学院大学 現代社会学部 教授
水野 晶夫氏
みずの あきお

名古屋市生まれ。名古屋大学経済学部卒業。
名古屋学院大学現代社会学部教授。
学生との「商学連携」活動で、瀬戸・銀座通り商店街、名古屋・日比野商店街を「がんばる商店街」入選に導く。
それらの成果もあり、文部科学省・地(知)の拠点整備事業に名古屋学院大学が選定(2013年度)。
現在では、地元熱田の老舗若衆らとともに「あつた宮宿会」を立ち上げ(2014年)、熱田神宮等での「あつた朝日市」の開催や産官学連携によるまちづくりに取り組む。



パネリスト
あつた宮宿会 会長
花井 芳太朗氏
はない よしたろう

名古屋市生まれ。「尾張名古屋・亀屋芳広」3代目当主。「あつた宮宿会」会長。
大学を中退してバックパッカーで半年間放浪し、帰国後すぐにアメリカの大学に留学。卒業後、現地で始めた学生サークルをイベント会社として興す。関東の和菓子店で4年間の修行後、家業に入る。
現在は和菓子を通して熱田に関わり、熱田でインバウンド向けお菓子教室等を開催するほか、パリの料理菓子専門学校「ル・コルドンブルー」和菓子担当を務める等海外にも和菓子文化を発信。
今年6月には新業態「あずき茶屋」を長久手市に展開し事業を進める。



パネリスト
水辺とまちの入口研究所 共同代表
井村 美里氏
いむら みさと

名古屋の水辺近くに生まれる。公務員として建築・まちづくり・都市計画等に從事しながら、「水辺とまちの入口研究所」、「ナゴヤSUP推進協議会」を立ち上げる(2017年)。
堀川検定やSUP活用等、名古屋近郊の水辺と水辺のあるまちの価値向上を目指した取組みを行う。
2022年に市役所を退職。現在は熱田・宮の渡し近くに水辺とまちづくりの拠点を開設準備中。
水辺とまちの入口ACT株式会社代表取締役、ナゴヤSUP推進協議会事務局長、愛知工業大学非常勤講師、元名古屋市熱田図書館長。



パネリスト
名古屋市住宅都市局 まちづくり調整監
山下 直人氏
やました なおと

三重県出身。名古屋大学を卒業後、昭和63年に名古屋市に入庁。
住宅都市局区画整理課長、市街地整備課長、総務課長等の後、住宅都市局参事(市街地整備担当)、総務局企画部長を経て、2023年4月より現職。
市役所入庁以来、長年にわたり区画整理事業をはじめとした市内各所のまちづくりに携わってきた経験や、名古屋市の次期総合計画の検討で得た知識などを生かし、世界中の人々をひきつける「魅力あふれる中部圏の中核 大都市名古屋」の実現を目指す。